

野蒜復興新聞

震災から4年 野蒜のこれから

平成27年3月11日、震災から4年が経過しました。新しい年度を迎えるにあたり、野蒜の動きが見られます。野蒜まちづくり協議会の事業計画等が示されました。また、まちづくり講演会が、開催されました。復興部会の活動計画を示しました。第3回国連防災世界会議にて野蒜まちづくり協議会が世界へ発信されました。

の・び・る まちづくり講演会開催

3月8日、野蒜まちづくり協議会主催の、人材育成研修事業が開催されました。野蒜地域の抱える課題の一つである、ふるさと再生・共生・コミュニティづくりを中心に、講師の宮原博通氏からお話を頂きました。会の中で同氏は、若者が惚れる地域について、元気な活動の行

き交う活動、地域の心を聞いたお話を熱く聞かされた様子でした。



講師の宮原博通氏

第10回野蒜まちづくり協議会復興部会

震災から4年が経過した3月11日の夜、26年度最後の復興部会が開催されました。犠牲者への黙祷から始まった本会では、3月中に実施された自治会地区割りに関する意向調査について元地における対応を協議しました。また、次年度の活動計画について、この日まで同様に毎月1回の定例会議を実施する他、2回の実



復興部会の様子

域の復興状況に関する住民説明会を開催するとしてい

国連世界防災会議で野蒜を世界へ発信

3月14日から18日までの期間で第3回国連防災世界会議が仙台市で開催されました。15日に東京エレクトロンホールにて『復興×地域おこし×国際』と題

がりを運ぶ人々と題して、パブリック・フォーラムが開催されました。野蒜まちづくり協議会から大



会場には多くの来場者が来ました

27年度に向かっ

野蒜まちづくり協議会 役員会

3月23日に開催された野蒜まちづくり協議会役員会において、野蒜市民センターと野蒜まちづくり協議会に関連する26年度事業報告と収支決算報告、および27年度事業計画と収支予算が示されました。本会にお

総会の日程は、
日時:4月26日(日)
10:00~
場所:野蒜市民センター
忘れないでね!!



野蒜まちづくり協議会
イメージキャラクター
マックン

野蒜北部丘陵振興協議会

5つの仮設住宅団地にて野蒜高台移転懇談会(報告会)を開催

3月14日(土)ひびき工業団地で開催された懇談会(報告会)の様子



これまで開催しました懇談会で、皆さまからいただきましたご意見などについて、既に組み立てたもの、今後検討しなければならないもの、整理を行いました。その報告の場として、懇談会を開催され、参加者からは「これまでの要望や意見が非常に多く議論されてい

ました。」との声がありました。会の中で、市が進んでいる自治会制度の概要説明、今後の課題でもある高台移転に伴う野蒜地域の自治会の地区割についてアンケート調査の結果を公表する予定です。

に、項目の内容について説明が行われました。また、高台移転の街並みができるようにしたCG(コンピュータグラフィック)動画も紹介され、参加者からは、「新しいまちは、イメージができて良かった。」という声も多くあり、将来住むことになる高台のイメージを膨らませながら、熱心に見入っていました。

同協議会では自治会の地区割りに伴うアンケート調査の集計作業を進めており、4月以降結果を公表する予定です。



3月12日(木)グリーンタウンやもと2で開催された懇談会(報告会)の様子

野蒜

想いのリレー

日に日に春の気配を感じるこの頃で、信号も消え、車のヘッドライトだけが明るく照らしている。この3月11日、震災から4年が過ぎました。まだ4年? た野蒜の状況には、もう4年? 多分どちらもだと思いません。復興・再建へはまだ道半ば、でもあの日のことは昨日のよう

な山間の道を進みまに取組んでいます。に、「住民や訪れる人たちの笑顔」で、良い街が作られています。

「シビックプライド」という言葉を聞いたことがありませんか? 「郷土愛」に近いのら、夕刻海岸にギターを持って行って弾きたいと思いませんか? これからこ

と、「住民ひとりひとりの集合体で街が成り立つ」参加的意味があります。「きれいな風景のジグソーパズル」野蒜のピース「住民」で一人が欠けても、パズルが完成しない。意味が、道路や建物と

佐賀 剛

今回の懇談会(報告会)開催実績

- ・3月7日(土) 19時 参加者22名
上北谷地(上下堤) 地区仮設住宅談話室
- ・3月9日(月) 19時 参加者21名
小野駅前地区仮設住宅集会所
- ・3月12日(木) 19時 参加者28名
グリーンタウンやもと2あおぞら集会所
- ・3月14日(土) 19時 参加者46名
ひびき工業団地仮設集会所
- ・3月15日(日) 10時 参加者27名
根古地区センター

こんなところにも野蒜復興新聞



野蒜地域の交流拠点となっており、地域交流センター(Nまつぶ)でも、野蒜復興新聞最新号が読めます。また、野蒜まちづくり協議会の広報紙『のびのび郷』と、野蒜地域の目安箱を設置してありますので、ぜひお立ち寄り下さい。